

会派の
代表6人が

総括質疑

1. 吉水 喜美子【自由クラブ】 P10

- ①「チーム福津」について
- ②「第2次総合計画」について
- ③「稼げるまち」について
- ④農業活性化について
- ⑤教育環境の整備について
- ⑥コミュニティ・スクールについて
- ⑦世界文化遺産を生かした歴史学習の充実について

2. 井上 聡【政友会】 P10

- ①新しい福津の推進について
- ②暮らしやすい福津の推進について
- ③「子どもたちへの福津」の推進について
- ④人がつながる福津の推進について

3. 横山 良雄【福新会】 P11

- ①第2次総合計画について
- ②行財政改革について
- ③「子どもたちへの福津」の推進について
- ④人がつながる福津の推進について
- ⑤安心・安全のまちづくりについて
- ⑥民間活力の導入について
- ⑦公共施設、インフラ施設の維持管理について
- ⑧安定した財政運営の確立について
- ⑨働き方改革について

総括質疑・一般質問の詳細は、福津市議会ホームページをご覧ください。
質問者ごとに総括質疑・一般質問を録画配信しています。公開は、各定例会後の4年間です。(検索方法は19ページに掲載)

福津市古墳キャラクター
ふんちゃん



4. 江上 隆行【新政会】 P11

- ①持続可能な開発目標:SDGsについて
- ②自治体間競争について
- ③「チーム福津」の推進について
- ④財源の捻出や収入増について
- ⑤「福津ブランド」の醸成と情報発信の取組みについて
- ⑥地域商社「(仮称)ふくつ物産」について
- ⑦「稼げるまち」への転換について
- ⑧まちぐるみの健康経営について
- ⑨福津市域外との連携について
- ⑩行財政改革の推進について
- ⑪活用可能財源の確保について
- ⑫公共施設、インフラ施設の維持管理及び更新・長寿命化の取組みについて
- ⑬点検・評価の強化と分析・立案の実施について
- ⑭喫緊の課題への対応と効果的なまちづくりの推進について

5. 蒲生 守【公明党】 P12

- ①暮らしやすい福津の推進について
- ②人がつながる福津の推進について
- ③「子どもたちへの福津」の推進について
- ④新しい福津の推進について
- ⑤予算編成方針について

6. 戸田 進一【日本共産党】 P12

- ①「市政運営の指針」についての市長の基本的な考え方について
- ②市民の健康づくりについて
- ③子ども施策について

教室不足や学校施設等の老朽化への対応は

急増する小・中学校区では教室確保が急務



自由クラブ 吉水 喜美子

問 教育環境の整備について、児童生徒の急増に伴う教室不足や学校設備の改修、既存施設の老朽化への対応が計画されているが、今年度予算で十分といえるか。

答 福岡小学校では、平成28年度から継続して取り組んできた教室棟の改築工事が完了し、平成30年4月から使用する。管理棟は内部改

修やリース校舎、第2職員室を設置し、長寿命化に向けた管理棟の実施計画を本年度行う。

福岡南小学校では、教室棟として使用する予定であるリース校舎の整備を現在行っており、職員室の拡充整備など管理棟の改修工事も行つ。津屋崎小学校では、通常学級及び特別支援学級の児童が、年々増加しているため、教室棟としてリース校舎の整備を行う。

福岡中学校では、限られた校地面積の中で生徒の学習環境と安全を確保し、効果的にこの施設整備を行う。平成30年度に基本設計をもとに、改築に向けた実施設計を行い、年次的に整備を行う。

問 児童生徒の増加による通学区区域の変更に着手する考えは。

答 平成30年度に通学区区域の見直しについて審議会を立ち上げ、特に福岡中学校の生徒の急増もあり、上西郷小学校の特認制度も含めて総合的に検討を行う。



福岡南小学校のリース校舎

新しい福津の推進について

観光入込客数増と市の知名度向上に資する



政友会 井上 聡

問 ブランディングを逸品作戦と発信力の強化で福津がらり市をJR博多駅で紹介しているが今後の考えは。また、古賀サービスエリアでのアンテナショップの考えは。

答 博多駅での福津がらり市はすごく好評で、継続していきたいと考えている。古賀サービスエリアのアンテナショップは、出店者や手

数料を含めた出店費用等の条件が見合えば、広くPRする機会であり、今後の検討と思つている。

問 農業基盤の整備は年次毎に進んでいると思う。在自・五反田地区には素掘りの水路など整備されていない場所がある。早急な整備を。

答 昨年4月に在自区から要望があり、現地立会を行つている。水路の改修要望は、他地区からもあり、県の補助事業等を活用して計画的な整備を行い、用排水管理の負担軽減を図つていきたい。

問 映画、ドラマの誘致など、フィルムコミッションへの取組みは。

答 「めんたいぴりり」の第2弾で津屋崎千軒あたりをロケ地にとの申し出があつており、喫緊のうちロケが行われることは確認している。津屋崎郷づくり推進協議会の協力を得て行つていくことになつている。



映画やドラマのロケ地誘致で賑いの創出を

高齢化社会における自主防災活動の将来像は

組織率の向上と訓練等 地域と一緒に取り組む



福新会
横山 良雄

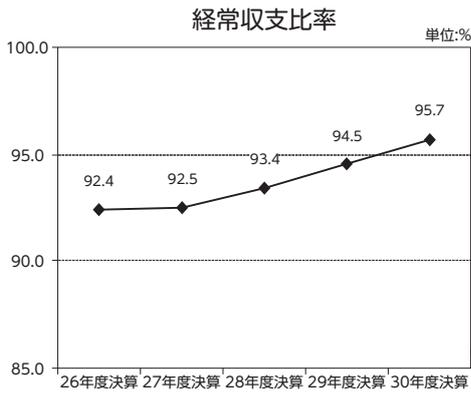
問 自治会や隣組を主体とする防災活動や避難訓練と、実際に起こり得る自然災害時では、若者や働く世代の在宅少数化で状況はかなり違ってくる。在宅高齢者への配慮が重要である。住宅の耐震補強や宅内避難経路の確保に補助等を行い、命と財産を守る手厚い施策が必要であると考えます。そこで、災害時コミュニケーションの発信や企業支援の要請など取り組む考えは。

答 近所の助け合いが一番大切である。自主防災組織の立ち上げを推進し、支援していく。耐震改修の研修会を開き、毎年度予算を上げているが今年度も1件しかなかった。周知に努めていく。

▼安定した財政運営の確立を図れ

問 毎年悪化する経常収支比率の推移は財政負担を更に強いるものだが、平成30年度予算は将来的に比率の改善を見据えた編成なのか。また、プライマリーバランスの黒字計画も視野に入れているのか。

答 人口増加に伴う義務的経費、特に扶助費の増加、老朽化した公共施設の改善と維持補修費の増大など、加えて合併算定替処置の縮減などで財政の硬直化は進む。本年度は積み上げ予算編成を通じ経常経費の抑制と財政指数の向上を目指して持続可能な運営を進める。



経常収支比率の推移改善を図れ

地方創生は市自ら考え行動する事ではないか

市民と共に目指すべき ビジョンを作りたい



新政会
江上 隆行

問 地方創生が花盛りの様相を呈しているが、まちづくりで成功している自治体は、ほぼ間違いなく、自らのアイデアで取り組んでいると認識している。

地方創生で重要なことは、人口増減ではなく、また、国から押しつけられて取り組むものでもなく、福津市自ら創生する意欲をもつて考え、行動し、魅力的なまちにしたいので、予算を頼みますと国へ要請するのが、真の地方創生であるというのが私の考えである。

また、地方から国へ提案が出されることもあるが、提案がなかなか出てこないのが、国がいろいろメニューを出さざるを得ないというのが地方創生の現状であると捉えている。

そこで、10年先、20年先、いや50年先の福津市のあるべき姿を見据え、福津市が取り組む施策の精査・検証を通じたビジョンをもつて、いかに市民の声を反映できるかを地方創生の基本的スタンスにすべきであると考えますが、市長はどのように考えているか。



地方創生のあるべき姿とは何か

答

強力なエールをいただいたと思っている。本当に失敗している自治体もある。福津市が持っている資源、自然の豊かさ、市民力の高さを十分に活用して、市民と情報を共有しながら、目指すべき福津市のビジョンと一緒に作っていききたい。

海予算の新設を 求める

しっかりと今後の検討
課題として考える



公明党
蒲生 守

問 予算編成について、目的予算の検討はできないか。特に社会インフラ整備と「稼げるまち」への投資に着目し、土木費・商工費の予算アップが必要と考えるが。

答 優先順位が高い事業への配分ができるよう、効率的、効果的な予算編成に努めていく。



ボランティア団体が清掃活動を行っている

問

平成29年度3月の補正で介護と子ども関係の予算が約1億円残った。同じお金が、当初予算に上がっていればいろんな事業ができた。扶助費に切り込むべきではないか。また前市長のときに松林を一斉にきれいにしていることと、3年間毎年5千万円を使って松林再生を行った。このことが、今福津にとってプラスになって、海がきれい、松林がきれいなまちとなった。また地域のかたがたも松林の再生のために努力をされる地域参加型のいい循環ができています。要望ではあるが今、農林・観光・維持に配分されている海に関わる予算を一本化し、海予算として目的予算を新設してはどうか。

答

扶助費の削減によって財源確保を目指すことは、なかなか厳しいと考える。また、生活インフラ整備のために道路予算を増やすご要望はわかる。また、海予算も今後の検討課題とさせていただきます。

市の実情に沿った事業 の組み立てが必要では

国の事業メニューに
乗せたまちづくりを行う



日本共産党
戸田 進一

問 市政運営において国の政策に偏りすぎると本市の自主性を損なう危険がある。国の地方創生等の事業メニューを使って本市の賑わいをつくるのを否定しないが、本市の産業構造等に沿った事業の組み立てが必要ではないか。

さらに、市の事業を推進する中心は市の職員であり、一人一人が大事にされる残業等の労働環境の改善が必要だ。考えは。

答

その通りだ。将来必要となる財源確保のために、国の事業メニューに乗って稼げるまちづくりを進める。

また、残業時間の多い税務課については、何らかの手を講じなければいけないと考えている。

▼市民の健康づくりを

問

健康づくりの重点は、国保加入者の健診受診率・保健指導率のアップだ。そのためには、受診してよかったと思われる受診項目の充実や保健師の増員を図ることだ。市の考えは。

答

魅力ある健診につながるよう努力する。また、企業と連携をはかり健康増進に取り組む。保健師の新たな確保とともに、今働いている保健師が本来の仕事ができるような工夫も必要だ。



原崎市長、2年目の市政運営